

※本資料の吹き出しにおいて、各用語は次のように表記する。

- ・SDGs未来都市計画・・・計画
- ・自治体SDGsモデル事業（または「特に注力する先導的取組」）・・・モデル事業等
- ・自治体SDGs推進評価・調査検討会・・・検討会

## SDGs未来都市等進捗評価シート

自治体名

自治体名が正しく記載されているか確認してください。

（例：●●県●●市）

2019年X月

SDGs未来都市計画名

○○○○

自治体SDGsモデル事業名

○○○○

モデル事業等の事業名を記載してください。

（モデル事業採択都市は記載必須、それ以外の都市は任意記載）

# SDGs未来都市等進捗評価シート

2018年度

## 1. 全体計画

本シートの記載にあたって、フォントはMeiryo UI 14pt以上を使用してください。また、記載欄の大きさは変更せずに記載してください。

計画タイトル	〇〇県 〇〇市 SDGs未来都市計画
2030年のあるべき姿	●●●●●● 計画「1.1 (2) 2030年のあるべき姿」から引用してください。 枠内に収まらない場合等には、要約して記載してください。 計画「1.1 (3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット」と一致していることを確認してください。

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット	経済	社会	環境
	ゴール 8 ターゲット 8.3 ゴール 9 ターゲット 9.4, 9.b 	ゴール 1 ターゲット 16.6 ゴール 17 ターゲット 17.17 	ゴール 7 ターゲット 7.2, 7.3, 7.a ゴール 11 ターゲット 11.3, 11.7, 11.b 
指標名、当初値、2030年について、計画「1.2(3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール」から引用されていることを確認してください。			

優先的なゴール、ターゲットに関する KPI	#	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2030年		進捗状況や課題等 (定性指標や補助指標等を含む)	
	1	地域経済牽引事業の新規事業件数	2017年12月	0 件	2030年	7 件	XXXXXX
2	先端設備等導入計画の認定件数	2018年6月	0 件	2030年	12 件	XXXXXX	
3	「住民参加」「情報共有」の満足度 (100 点満点中)	2015年度	47 点	2030年	70 点	XXXXXX	
4	「連携によるまちづくり」の満足度	2015年度	50 点	2030年	75 点	XXXXXX	
5	温室効果ガス総排出量 (CO2 換算)	2015年度	62,327 t-CO2	2030年	25,781 t-CO2	XXXXXX	
6	地域での生活を象徴する生活空間の形成	2018年6月	0 件	2030年	1 件	XXXXXX	

<b>行政体内部の推進体制</b> ■各種計画への反映状況や課題 ○○○○ ■行政体内部の執行体制及び首長のリーダーシップ ○○○○ 計画「1.3(1)各種計画への反映状況」に基づき、各種計画(総合計画、環境基本計画等)への反映の有無や反映する内容、今後の予定等について記載してください。 計画「1.3 (2) 行政体内部の執行体制」に基づき、SDGs未来都市計画を推進するための組織体制や、首長の役割について、その目的や内容等を踏まえて記載してください。 (例：庁内の横断的・統合的なSDGs推進のため、首長直轄の●●本部を創設、域内外のステークホルダーへの協力を呼びかけるため、首長による●●宣言を採択)	<b>自治体SDGsの情報発信・普及啓発の取組状況・課題</b> ■○○○○○	<b>有識者からの取組に対する評価</b> ■○○○○ 記載不要です。 後日、検討会による進捗評価を記載し、公表いたします。
<b>ステークホルダーとの連携</b> ■○○○○○ 計画「1.3 (3) ステークホルダーとの連携」で整理した「域内の連携」「自治体間の連携 (国内)」、及び実施している場合は「国際的な連携」を記載してください。	<b>地方創生・地域活性化への貢献</b> ■○○○○○ 計画「1.1 (1) 地域の実態」で整理した「今後取り組む課題」の解決に、SDGs未来都市計画がどのように貢献するかを記載してください。 その際、自治体SDGs推進評価・調査検討会が作成した「自治体によるSDGsの取組の評価の視点」の「4 具体的な事業推進の視点」を参考としてください。	

# SDGs未来都市等進捗評価シート

本シートの記載にあたって、フォントはMeiryo UI 14pt以上を使用してください。  
また、記載欄の大きさは変更せずに記載してください。

## 1. 全体計画

J列に2018年における数値を記載し、I列に2018年度と記載してください。

2018年の数値が未把握の場合は、把握可能な直近の数字をJ列に入れた上で、I列に年次を記載してください。

2018年の数字が記載されれば(I列)、自動で入力されます。

自治体SDGsの 推進に資する 取組の 2020年のKPI	取組名	ターゲット	指標名	当初値	2018年	2020年	達成度 (%)	進捗状況や課題等 (定性指標や補助指標等を含む)
		①地域連携による雇用創出及び人材育成の取組	8.3	①「まち・ひと・しごと」マッチングプラン推進事業による年間就業者数	2017年度 13人	XXXX 人	2020年 15人	-50% 0% 50% 100%
	②農地の再編整備を進め、農畜産物のブランド化を進める取組	9.4 9.b	①道の駅の直売所での町産農産物の売上	2017年度 294百万円	XXXX 百万円	2020年 311百万円	-50% 0% 50% 100%	<p>左記のKPIの達成度に関して、進捗した具体的取組内容や、2020年の目標達成に向けた取組課題や対応策等を記載してください。</p> <p>また、設定したKPIだけでは達成度を適切に表せない進捗や、0%か100%のみで表現される指標（例：〇〇の実施の有無）等があれば、定性的なコメントや、KPIに近い補助指標等を用いて説明してください。</p>
	③まちづくり基本条例に位置づけた住民参加・情報公開の満足度	16.6	①「住民参加」「情報共有」の満足度	2015年度 47点	XXXX 点	2020年 60点	-50% 0% 50% 100%	
		17.17	②「連携によるまちづくり」の満足度	2015年度 50点	XXXX 点	2020年 60点	-50% 0% 50% 100%	XXXXXX
		7.2 7.3 7.a	①温室効果ガス 総排 換算)	2015年度 62,327 t				<p>※参考 基本式で計算できない達成度の計算の対応例</p> <p>例1. 人口 (現状値1,000人、目標値1000人)</p> <p>例2. 新庁舎の建設 (現状値0件、目標値1件)</p> <p>現状値 目標値 の計算式を使用 実施設計が完了したため、50%の達成度とする。</p>
	計画「1.2(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の概要(2018~2020年度の取組)」に記載されていることを確認してください。	11.3 11.7 11.b	計画「1.2(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の概要(2018~2020年度の取組)」に記載されているKPIについて、指標名・当初値・2020年値が記載されていることを確認してください。					

計画「1.2(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の概要(2018~2020年度の取組)」に記載されていることを確認してください。

計画「1.2(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の概要(2018~2020年度の取組)」に記載されているKPIについて、指標名・当初値・2020年値が記載されていることを確認してください。

1. 計算式は以下を基本とします

○達成度の計算式 (基本式)  

$$\frac{\text{現状値} - \text{当初値}}{\text{目標値} - \text{当初値}}$$

2. 基本式で計算できないKPI (人口、空家数など維持を目標とするKPI等) がある場合は、別の計算式を用いても構いません。その場合、P列に使用する計算式を入力したうえで、「進捗状況や課題等」欄に使用した計算式を記入ください。

※参考 基本式で計算できない達成度の計算の対応例

例1. 人口 (現状値1,000人、目標値1000人)

例2. 新庁舎の建設 (現状値0件、目標値1件)

現状値 目標値 の計算式を使用 実施設計が完了したため、50%の達成度とする。

# SDGs未来都市等進捗評価シート

2018年度

## 2. 自治体SDGsモデル事業

本シートの記載にあたって、フォントはMeiryo UI 14pt以上を使用してください。また、記載欄の大きさは変更せずに記載してください。

自治体SDGsモデル事業名	〇〇〇〇事業	自治体SDGsモデル事業名が記載されていることを確認してください。
---------------	--------	-----------------------------------

モデル事業の概要	●●●●●	計画「2（1）課題・目標設定と取組の概要」から引用してください。枠内に収まらない場合等には、要約して記載してください。
		J列に2018年における数値を記載し、I列に2018年度と記載してください。
		2018年の数値が未把握の場合は、把握可能な直近の数字をJ列に入れた上で、I列に年次を記載してください。
		2018年の数字が記載されれば(J列)、自動で入力されます。

三側面ごとの取組・事業とKPI（2020年）	取組名	ターゲット	指標名	当初値	2018年	2020年	達成度（%）	取組内容	当該年度の取組状況の評価と今後の課題
		【経済】 ①-1 観光目的税の導入検討・実施事業	8.3	①新設事業所数	2018年4月 0件	XXXX 件	2020年 20件	-50% 0% 50% 100%	【取組内容】 XXXXXX  【事業費等】 事業費：XXXX千円
	①-2 創業支援・企業進出支援事業	9.4							
	①-3 水道等、基礎的インフラの整備	9.b							
	【社会】 ②-1 住宅不足解消対策として、集合住宅建設時の固定資産税減免対策	11.3 11.7	①集合住宅建設時の町独自固定資産税減免対象件数	2018年4月 0件	XXXX 件	2020年 8件	-50% 0% 50% 100%	【取組内容】 XXXXXX  【事業費等】 事業費：XXXX千円	XXXXXX
	②-2 ローカルスマート交通構築事業	11.b							
	②-3 情報共有・住民参加を基にした新たな自治活動の展開	16.6 17.17	②地域運営組織の検討・導入	2018年4月 0件	XXXX 件	2020年 20件	-50% 0% 50% 100%	【取組内容】 XXXXXX  【事業費等】 事業費：XXXX千円	XXXXXX
	②-4 防災対策の拠点となる防災センターの整備（新庁舎と一体整備）								
	【環境】 ③-1 駅前へ熱供給の導入事業		③環境配慮型象徴的新庁舎の建設	2018年4月 0件	XXXX 戸/年	2020年 15戸/年	-50% 0% 50% 100%	【取組内容】 XXXXXX  【事業費等】 事業費：XXXX千円	XXXXXX
	③-3 環境配慮型象徴的新庁舎の建設								

取組名、ターゲット、指標名、当初値、2020年について、計画「2.（2）3側面の取組」から引用されていることを確認してください。

達成度については、「全体計画」と同様の計算方法です。基本式で計算できないKPI（人口、空家数など維持を目標とするKPI等）がある場合は、別の計算式を用いても構いません。その場合、P列に使用する計算式を入力したうえで、「進捗状況や課題等」欄に使用した計算式を記入ください。

今年度に進捗した具体的な取組内容等を記載してください。

左記のKPIの達成度に関するコメントや2020年の目標達成に向けた取組課題や対応策等を記載してください。また、設定したKPIだけでは表せない進捗等があれば、定性的なコメントや、KPIに近い補助指標等を用いて説明してください。

# SDGs未来都市等進捗評価シート

2018年度

## 2. 自治体SDGsモデル事業

本シートの記載にあたって、フォントはMeiryo UI 14pt以上を使用してください。また、記載欄の大きさは変更せずに記載してください。

三側面をつなぐ統合的取組 (自治体SDGs補助金対象事業)

○○○○事業

○○○○

計画「2. (3) 3側面をつなぐ統合的取組の概要」から引用してください。  
枠内に収まらない場合等には、要約して記載してください。また、複数の取組に分けた方がわかりやすい場合には、枠を分割してそれぞれ記載してください。(以下「取組内容」「当該年度の取組状況の評価」も同様です。)

取組内容

2018年度

【取組内容】  
XXXXXX

【事業費等】  
事業費：XXXX千円

計画「2. (3) 3側面をつなぐ統合的取組の概要」に基づき、2018年度に進捗した取組内容等を記載してください。

当該年度の取組状況の評価

●○○○○

計画「2. (3) 3側面をつなぐ統合的取組の概要」に基づき、2018年度の取組の進捗状況や、「2. (7) スケジュール」も踏まえた今後の取組課題や対応策等を記載してください。

自律的好循環に向けた取組状況

■○○○○

計画「2. (5) 自律的好循環」に基づき、取組の進捗状況等について記載してください。

ステークホルダーとの連携状況

■○○○○

計画「2. (4) ステークホルダーとの連携」に基づき、取組の進捗状況等について記載してください。

三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果

経済⇔環境

経済⇔社会

社会⇔環境

●○○○○

計画「2. (3) 3側面をつなぐ統合的取組の概要」の「②3側面をつなぐ統合的取組による相乗効果」に基づき、相乗効果の創出状況やトレードオフ問題の緩和状況、設定したKPIだけでは表せない進捗等があれば、定性的なコメントや、KPIに近い補助指標等を用いて説明してください。

指標名・当初値・2020年について、計画「2. (3) 3側面をつなぐ統合的取組の概要」から引用されていることを確認してください。重複する指標は、一つにまとめて記載していますので注意してください。  
例)  
【経済→社会】総人口(住民基本台帳)と【環境→社会】総人口(住民基本台帳)がある場合、  
【経済→社会】【環境→社会】総人口(住民基本台帳)とまとめて記載

2018年の数字が記載されれば(1列)、自動で入力されません。

自治体SDGsモデル事業の普及展開状況

■○○○○

計画「2. (6) 普及展開策」に基づき、取組の進捗状況等について記載してください。

#	指標名	当初値	2018年		2020年		達成度 (%)			
			2018年	2018年	2020年	2020年	-50%	0%	50%	100%
1	【経済→環境】新設集合住宅	2018年4月 0 棟	2018年	棟	2020年	10 棟				
2	【環境→経済】温室効果ガス総排出量 (CO2 換算)	2015年度 62,327 t-CO2	2018年	t-CO2	2020年	48,972 t-CO2				
3	【経済→社会】【環境→社会】総人口(住民基本台帳)	2018年1月 5,227 人	2018年		2020年	5,287 人				
4	【社会→経済】備戸数									
5	【社会→環境】									

1列に2018年における数値を記載し、1列に2018年度と記載してください。  
2018年の数値が未把握の場合は、把握可能な直近の数字を1列に入れた上で、1列に年次を記載してください。

有識者からの取組に対する評価

■○○○○

記載不要です。  
後日、検討会による進捗評価を記載し、公表いたします。